

4°C

株式会社4°Cホールディングス 第64期第3四半期株主通信

holdings group

(2013年3月1日から2013年11月30日まで)



代表取締役社長 鈴木 秀典

株主の皆様へ

～すべてはおお客様の“笑顔”や“ときめき”のために～

当社グループは、全てのステークホルダーに対して誠実に
対応し、お客様に信頼される企業、社員に夢を与えられる企
業、社会に貢献できる企業、株主に期待される企業を目指すこ
とを経営理念としています。

そして、常に挑戦の姿勢で物事に取り組み、新しい市場を創
造し、価値を創り続けることにより、持続可能な発展を目指
してまいります。株主の皆様におかれましては、引き続きご支
援・ご助力をいただければ幸いです。

2013年度第3四半期の総括

2014年2月期第3四半期の流通業界におきましては、資産効果等により高額品の売れ行きは好調でしたが、個人消費は本格的な回復に至らず、厳しさを残しながら推移しました。しかし、当社グループ丸となって事業ごとの重点施策に取り組んだ結果、当第3四半期の連結業績は、営業収益前年同期比0.3%増、営業利益同5.3%増、経常利益同9.3%増、四半期純利益同36.9%増と増収増益となり、各利益とも第3四半期累計期間として過去最高を更新することができました。

事業会社別にみると、エフ・ディ・シー・プロダクツグループでは、「4°C」(ヨンドシー)ジュエリーの既存店が好調でした。また、「4°C BRIDAL

(ヨンドシープライダル)や「canal4°C」(カナルヨンドシー)の積極的な出店拡大を進めました。さらに、2013年11月には、プライダリング専門店「deux et deux」(ドゥ・エ・ドゥ)豊田店や「MAISON JEWELL」(メゾンジュエル)イオンモール羽生店がオープンするなど、新しいコンセプトの店舗出店も着実に進展しました。アスティグループは、円安の影響等により苦戦しました。(株)三鈴は、積極的な販促活動と商品企画の強化に取り組みましたが、苦戦しました。(株)アージュは、主力の「パレット」の既存店が健闘したほか、新規出店が売上の増加に寄与しました。

通期見通しとビジョンの達成に向けて

第3四半期終了時点における2014年2月期の連結業績予想は、営業収益500億円(前期比3.7%増)、営業利益48億円(同10.7%増)、経常利益54億円(同10.6%増)、当期純利益31億円(同9.5%増)で当初計画と変更なく増収増益を見込んでいます。特に営業利益、経常利益、当期純利益は、前期に引き続き過去最高を更新する見通しです。

景気回復基調の中、消費税増税を控えて消費の先行きは不透明感が残っています。こうした状況の中、当社グループは第4四半

期も新規出店等の積極投資を進めていきます。すでに2013年12月には、多数の集客が期待できる千葉・幕張新都心に「MAISON JEWELL」や三鈴のレディースファッションブランド「Flor by Rew de Rew」(フロール バイ ルウデルウ)をオープンしました。海外事業では2013年12月に中国・杭州に「4°C」を出店しております。今後も「Challenge & Progress(挑戦と躍進)」をテーマに掲げた第3次中期経営計画のビジョンの実現を目指してまいります。

第3次中期経営計画の基本方針 (2013年2月期～2015年2月期)

事業ビジョン

- | | |
|---|-------------------|
| 1 エフ・ディ・シー・プロダクツグループにおけるチャネル戦略の推進によるジュエリーSPA事業の成長拡大 | 5 海外戦略の推進 |
| 2 アスティグループにおける企画・生産機能の強化によるアパレルメーカー事業の収益向上 | 6 EC事業の拡大 |
| 3 (株)三鈴におけるコアブランドの育成によるアパレルSPA事業の確立 | 7 「4°C」ブランドの価値向上 |
| 4 (株)アージュにおける都市型フォーマットの確立によるデイリーファッション事業の収益向上 | 8 各グループ子会社の利益体質強化 |

組織ビジョン

- グループシナジー体制の構築
- グループ業務機能の集約・強化
- グループ次期基幹システムの構築
- グループ人材育成の推進

数値ビジョン (2015年2月期) 目標

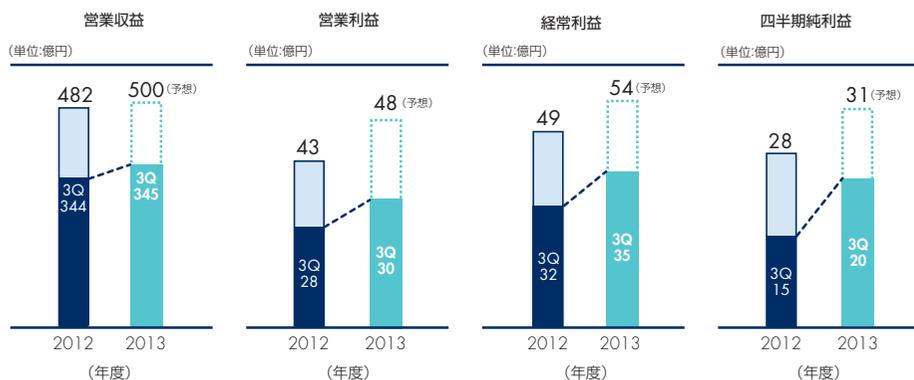
連結売上高	530億円
経常利益率	11.3%
ROE	7.6%

2013年度第3四半期(3月～11月)連結決算概要

2014年2月期第3四半期連結業績

- 飲食事業の売却に伴う減収要因7億円を吸収し増収、利益面では営業利益、経常利益、四半期純利益とも第3四半期累計期間において過去最高を更新しました。
- 第3四半期会計期間においても、営業収益0.6%増、営業利益24.5%増、経常利益35.8%増、当期純利益69.5%増と、増収大幅増益となりました。
- 2014年2月期の通期連結業績は、当初計画通り増収増益、各利益ともに過去最高を更新予定です。

営業収益	営業利益	経常利益	四半期純利益
345億円 (前年同期比 +0.3%)	30億円 (前年同期比 +5.3%)	35億円 (前年同期比 +9.3%)	20億円 (前年同期比 +36.9%)



セグメント情報

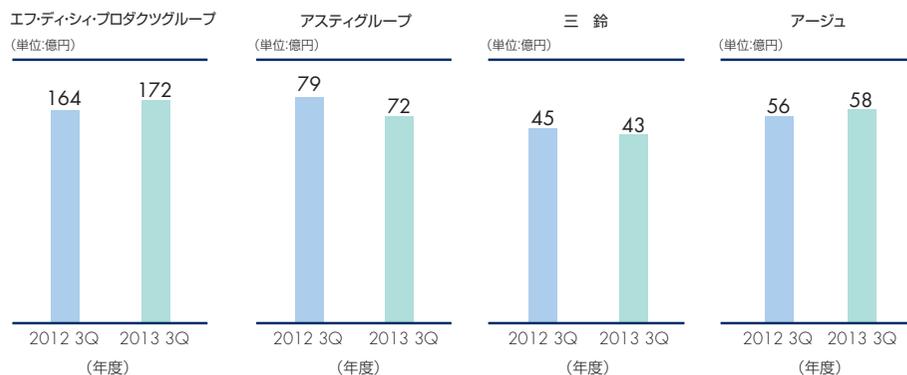
- エフ・ディ・シー・プロダクツグループは、既存店の好調と積極的な出店拡大により増収となりました。利益面においては、営業利益、経常利益、四半期純利益とも過去最高を更新しました。
- アスティグループは、アパレルメーカー事業の企画提案力強化と営業活動に取り組みましたが、円安の影響等により減収減益となりました。
- 三鈴は、客単価の減少や新店の不振等により減収減益となりました。
- アージュは、主力のデイリーファッション事業「パレット」の既存店の健闘や新規出店の売上拡大等により、増収増益で推移しました。

事業区分別業績

	営業収益 (単位:百万円)			セグメント利益 (単位:百万円)		
	2013年2月期 第3四半期	2014年2月期 第3四半期	前年同期比(%)	2013年2月期 第3四半期	2014年2月期 第3四半期	前年同期比(%)
エフ・ディ・シー・プロダクツグループ	16,429	17,187	+4.6	2,345	2,622	+11.8
アスティグループ	7,880	7,187	△8.8	582	495	△14.8
三鈴	4,484	4,321	△3.6	64	△69	—
アージュ	5,566	5,763	+3.5	113	116	+2.9

注1：記載金額は単位未満を切り捨てて表示しています。 注2：外部顧客に対する営業収益を表示しています。

事業区分別営業収益



トピックス

4℃クリスマスTVCM

株式会社エフ・ディ・シー・プロダクツ

2013年11月30日(土)~12月15日(日)の期間、全国の売上比率95%をカバーするエリアにて4℃のクリスマステレビCMを放映しました。

CMでは、彼が大切な彼女のために準備した幸せなサプライズをストーリー展開し、クリスマスの幸せ溢れる時を描きました。

クリスマスツリーの中に飾られた4℃プレゼントボックス、ネイビーのクリスマスツリーなど、ブランドカラーを基調とし、洗練された印象に仕上げました。

「Heartful Memories その喜びを永遠に」をテーマに、お客様の幸せな瞬間に寄り添い、女性がもっと輝くジュエリーを届けたいという、4℃の想いを込めて。



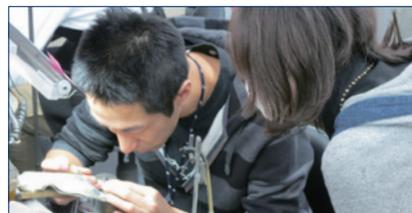
クリスマスの幸せ溢れる時を描いた4℃のクリスマスTVCMの1シーン

F.D.C.アカデミー彫金教室

株式会社エフ・ディ・シー・プロダクツ

2013年11月16日(土)に第6回F.D.C.アカデミー彫金教室が目黒本社にて開催されました。F.D.C.アカデミー彫金教室は2008年よりCSRの一環として取り組み、今年で6回目の開催になります。

プログラムは、参加者ご自身で4℃デザインの中から好きなリングと石を選んでいただき、本社アトリエメンバーのサポートを受けながらリングを仕上げしていきます。その他、ジュエリーコーディネート講座等を通して、モノ作りの楽しさやリングが出来あがっていく満足感・達成感を体験していただきました。



エフ・ディ・シー・プロダクツのアトリエメンバーのサポートを受けながら、リングの制作を楽しむ参加者

アスティふれあいコンサート

株式会社アスティ

(株)アスティでは、1985年から地元のオーケストラである広島交響楽団を支援し、地域文化の発展に貢献することを目的に「アスティふれあいコンサート」を開催しています。今回は、2013年12月5日(木)に広島国際会議場にて、バンドネオン奏者の小松亮太氏をソリストに迎え、広島交響楽団との共演を約1,100人の方々に楽しんでいただきました。



2013年12月に開催されたアスティふれあいコンサート

Flor by Rew de Rew東員店オープン

株式会社三鈴

2013年11月23日(土)、三重県初出店となる「Flor by Rew de Rew」(フロールバイルゥデルゥ)東員店がイオンモール東員1階にオープンしました。



Flor by Rew de Rew東員店

パレット大和田店オープン

株式会社アーजू

2013年11月14日(木)、大阪府門真市に「パレット大和田店」をオープンしました。当出店により、パレットの店舗数は55店舗となりました。12月には、大阪府(柏原市)と広島県(広島市佐伯区)にそれぞれ出店しました。



パレット大和田店

IRニュース

増配に関するお知らせ

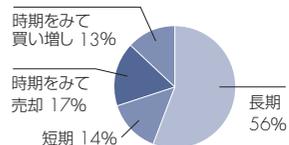
業績は順調に推移しておりクリスマス商戦も好調であったことから、増収が確実となり各段階利益とともに過去最高益を更新する見通しですので、期末配当予想は、特別配当5円増配して1株当たり17.5円に修正しました。この結果、当期の1株当たりの年間配当は、中間配当と合わせて30円となります。

株主アンケート結果のご報告 (2013年2月期実施)

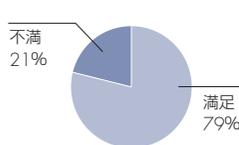
(株)4℃ホールディングスでは、株主の皆様の声にIR活動のより一層の改善に活かすため、継続的に株主アンケートを実施しております。今回も多数の株主様にご協力いただき、誠にありがとうございました。ご回答いただきました皆様は、発信数10,719名に対し合計8,436名、78.7%の返信率でした。その結果、当社の株式については、ご回答者全体の56%が長期保有であるとお考えでした。当社の株式を保有している理由に

ついては、「株主優待」の回答比率が最も高く、続いて「ブランド力」「安定性」「配当」が挙げられています。株主の皆様からのご関心が高い株主優待については、ご回答者全体の79%の方から「満足」のご回答をいただきました。また、2013年2月期配当については、ご回答者全体の78%の方から「満足」のご回答をいただきました。当社はアンケートの結果をふまえ、これからも株主・投資家の皆様にタイムリーで公正な情報をお届けできるよう、なお一層の努力をまいります。

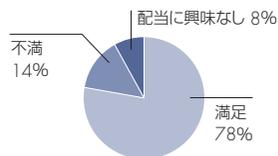
■ 当社の株式保有に関するお考えをお教えてください。



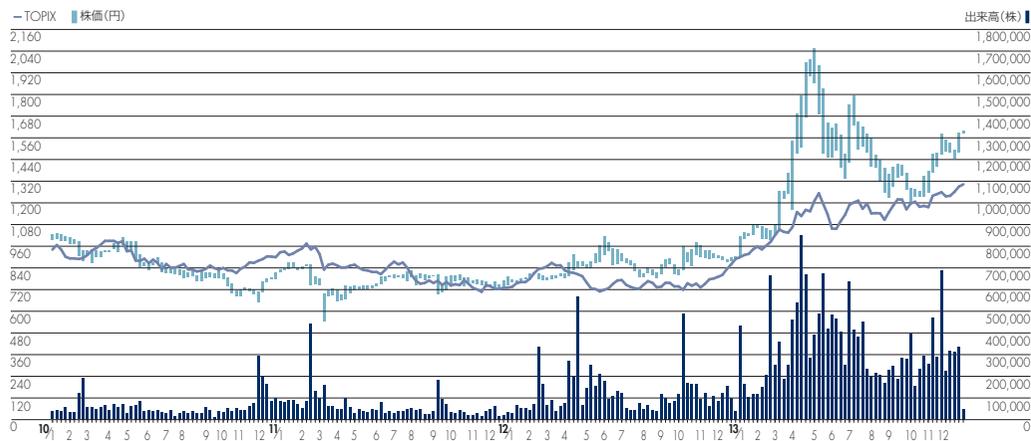
■ 株主優待についてご感想をお聞かせください。



■ 2013年2月期配当についてお聞かせください。



株価推移



当社のIRサイトでは、企業活動全般にわたる最新の情報をご提供しております。特に株主通信は、株主の皆様によりタイムリーに情報をご提供するため、四半期毎に作成しています。第1四半期および第3四半期株主通信は、ホームページのみでご覧いただけます。また、メールアドレスをご登録いただいた方に随時情報配信を行っております。是非ご覧ください。

URL <http://www.yondoshi.co.jp/>

IRお問い合わせ先 業務部 総務課

TEL: 03-5719-3429

FAX: 03-5719-4462

E-mail:
ir-yondoshi@yondoshi.co.jp

会社概要 (2013年11月30日現在)

社名	株式会社4℃ホールディングス (英文)YONDOSHI HOLDINGS INC.
所在地	〒141-0021 東京都品川区上大崎二丁目19-10
設立年月日	1950年5月18日
資本金	24億8,652万円
事業内容	ジュエリーを中心とするブランド事業 アパレル・バッグを中心とした 企画・製造・卸売事業および小売事業
連結子会社	10社

株主メモ

決算期日	毎年2月末
定時株主総会	毎年5月
配当金支払株主確定日	毎年2月末、毎年8月末(中間配当)
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
同事務取扱場所	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
公告	(公告方法)当社の公告方法は電子公告としております。但し、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。 (公告を掲載するホームページアドレス) http://www.yondoshi.co.jp/
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部
証券コード	8008

株式事務のお問い合わせ

三菱UFJ信託銀行株式会社
証券代行部
東京都江東区東砂7-10-11

お問い合わせ先
☎ 0120-232-711 オペレーター対応 / 受付時間 午前9時～午後5時まで(平日のみ)

各種手続き用紙のご請求
☎ 0120-244-479 音声自動応答 / 24時間受付

(ご注意)

- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。
- 配当金の口座振込のご指定につきましても、お手続きは配当金振込指定書を各口座管理機関を経由してお届けいただくこととなりました。振込指定のお手続きにつきましては詳しくは各口座管理機関にお問い合わせください。

本株主通信に記載されている事項には、将来についての計画や予想に関する記述が含まれています。実際の業績は当社の予想と異なることがありますことをご承知おきください。